

吉田みのるの MY 通信

Minoru Yoshida



6月議会特集号

議会のコロナ対応も、コロナ前の状態に戻りつつあります。マスクをしながら話すとき聞きづらかった答弁も、マスクがなくなり聞きやすくなりました。私は相変わらずの大きな声ですが、普通に声を出せるという事は、何より嬉しい事でした。

想いがみのる
願いがみのる
必ず みのる
吉田 みのる

2期目の主な役職

- ◇春日部市議会 副議長
- ◆厚生福祉委員会 委員
- ◇次世代 かすかべ！ 副幹事長
- ◆春日部市「庄和大風文化保存会」 顧問
- ◇西宝珠花区 理事
- ◆防災士

「春日部市議会の副議長」

に就任いたしました！

任期は1年となりますが、市政発展のために地域の発展のために、議長をサポートしながら取り組んで参ります。

引き続きのご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。



◆ 6月議会補正予算の主な内訳 (一部抜粋)

- 自治会活動支援事業 約 2,200 万円
物価高騰の影響を受けている自治会に対する支援金。各自治会に 5 万円 + 1 世帯 200 円 × 世帯数分を支援。
- 高齢者生活支援事業 約 6,800 万円
75 歳以上の高齢者に対する給付金(1 人 1,000 円)の給付
- 省エネ家電買い換え促進による生活者支援事業 約 2,100 万円
家庭におけるエネルギー費用負担を軽減するため、エアコン・冷蔵庫への買替え(基準あり)を支援。
8 月 1 日以降に市内の店舗で買替えをした市内在住者が対象(1 世帯 1 台まで)。
購入・設置・取外しにかかる費用の 1 / 4 (量販店 最大 2 万円、事業者 最大 4 万円) の額。
- 給食費の支援 約 1.3 億円
児童生徒(15,028 人)の給食費 2 ヶ月分(9 月・10 月)を無償とする。



6月議会で取組んだ一般質問について (一部抜粋)



詳しくは市議会
HPの動画をご
覧ください

「米 city かすかべ」かすかべブランドの実現に向けて

- 昨年度から立ち上がったこの事業は、生産者が作ったお米を製粉会社が粉にして、製麺会社が麺にして、市内飲食店関係者が商品にして取り扱い、地産地消として販売する「生産者から売り手まで」が全て揃ったオールスターズでの取組になっているが、令和4年度の実績について伺う。
 - 栽培：柵地区のほ場(約30a)で「亜細亜のかおり」1,200kgを収穫。製粉作業：米粉の粒子を細かく調整。製麺作業：小麦粉のつなぎを使わない製麺の試作を何度も実施。「米粉7割の麺」まで試作品が完成。
- 協力いただいた7つの協定団体(南彩農協・みずほ農協・春日部商工会議所・庄和商工会・観光協会・川上製麺所・みたけ食品工業)の皆さんは、どのような感想や反応を持っているのか伺う。
 - 「米作りから最後の加工まで、一貫した取組は非常に良いことだと思う」「米粉麺は言いづらいので、良い呼び方があった方がいいのではないか」「見た目はどうどんと変わらない」「思っていた以上に美味しい」など。
- 昨年度の結果や反応を受けての、令和5年度の取組について伺う。
 - 引き続き「亜細亜のかおり」の栽培と、パンやお菓子などに適した品種「笑みたわわ」の実証実験にも着手。約37aのほ場にて田植えを行った。飲食事業者を対象に「亜細亜のかおり」の米粉を試作用として提供する予定。ネーミングやキャッチコピーについても、関係者と検討を進めていく。
- 岩谷市長の「米 city かすかべ」に対する考え方や今後の対応について伺う。
 - 全てが初めての試みであったが、関係者内で共通認識を図ることができた。米粉麺や杉戸農業高校で試作したシフォンケーキやマドレーヌを試食したが、個人的には良い仕上がりになっていると実感した。引き続き協力団体と連携強化を図りながら、議員の期待に応えられるような様々なジャンルのお米製品が1つでも多く出回るよう全力で取組む。

「魅力あふれる江戸川小中学校について」

- 江戸川小中学校開校5年目となりますが、4年間経過した総括について伺う。
 - 「心の交流が息づく異学年交流」を更に発展させていくことが大切であると考えている。これらを活かし児童生徒に寄り添いながら、9か年を貫く効果的な教育活動や、地域の支援による多様な体験学習により、たくましく生きる児童生徒の豊かな心を育ててきた。
- スクールバスの導入に対する効果について伺う。
 - 併せて、昨年9月に認定こども園の送迎バスで子どもが亡くなった事件を受けて、安全対策等を行っているのか伺う。
 - 徒歩による遠距離通学の緩和。不審者や交通事故など、登下校時のトラブルの減少。熱中症の予防に繋がっている。安全対策については、国のマニュアルに基づく乗り降りの際の確認の徹底と、小学校のバスには義務化されていない安全装置の取付けを行う。
- 江戸川小中学校の学区外から通っている児童生徒の人数について伺う。

年度	児童生徒数 学区外/全校	学区外の 児童生徒の割合
令和元年	12 / 168	7%
令和2年	32 / 190	16%
令和3年	47 / 206	23%
令和4年	49 / 204	24%
令和5年	57 / 207	28%
- 5年目以降の江戸川小中学校に期待する事について、鎌田教育長に伺う。
 - 大運動会で1～9年生の団対抗リレーを行い、ゴール後に会場のあちこちで涙している大人の姿があり、勝敗は関係なく、義務教育学校の魅力を、保護者や地域の方が実感した瞬間なのであったろうと感じている。異学年で活動する行事の中で、関わりや交流を増やし「子どもたちの確かな学力」「豊かな心」「たくましい身体」を育むことを期待している。また大風や神楽など、校区内の豊富な地域資源や人材を活かした教育活動を実践し、保護者や地域の皆様の力をお借りする学校運営協議会と一体となって、目指す「児童生徒像」と「目標やビジョン」を共有し一体となって、学校づくりに努めて欲しいと期待している。